

平成26年度以降に競争性のある契約に移行予定のもの

(独立行政法人名:科学技術振興機構)

契約名称及び内容	契約職等の氏名並びに その所属する部局の名称 及び所在地	契約締結日	契約の相手方の商号 又は名称及び住所	随意契約によること とした業務方法書又は 会計規程等の根拠 条文及び理由	予定価格	契約金額	落札率	再就職の 役員の数	移行困難な事由	移行予定年限	備考
電話交換機の賃貸借（二式） 再リース	独立行政法人科学技術 振興機構 分任契約担当者 経理部長 菅谷行宏 埼玉県川口市本町4-1-8	平成25年10月1日	芙蓉総合リース株式 会社 東京都千代田区三崎 町3-3-23	リース期間が満了し たが、再リースを継続 することで、費用面 において効果が期待で きるため。（会計規程 第32条第4項）	非公表	4,857,360円	-	-	再リースを行うことで、費用 面において経費削減効果が期 待できるため。	平成26年度以降	

〔記載要領〕

1. 本表は、「随意契約見直し計画」の対象となっている契約を対象とすること。
2. 本表は、平成25年度に締結した契約のうち、平成26年度以降に競争性のある契約への移行予定のものについて、当該契約ごとに記載すること。
3. 本表は、「公共調達の適正化について」(平成18年8月25日付財計第2017号)記3. の記載方法に準じて記載すること。
4. 「移行困難な事由」欄は、平成25年度に競争性のある契約に移行できなかった事由を記載することとし、「移行予定年限」欄は、平成26年度以降の具体的な移行予定年限(例:平成26年度)を記載すること。